

《南極・北極科学館企画展示》

雑誌でめぐる！南極・北極

会期第2期：2025 年 10 月 7 日～12 月 27 日

本企画展示第2期では、《南極海》についての興味や関心を深めていただけるよう、
南極や北極、極地観測や研究を紹介する2つのメディア——

ウェブマガジン「極」と雑誌『子供の科学』から、関連するコンテンツを集めてパネル展示いたします。

「南極観測船」「海の研究」「多彩な海氷」という3つのテーマを元に、
2つの媒体ならではのさまざまな切り口で、極地の魅力に迫ります。どうぞお楽しみください。

子供の科学



1924 (大正 13) 年に創刊し、2024 年で 100 周年を迎えた小中学生向けの科学月刊誌です。読者の中にはノーベル賞受賞者をはじめ、多くの科学者やエンジニアがいます。宇宙や地球、生き物のふしぎから最新のテクノロジーまで、森羅万象をテーマに科学ニュース、実験、工作、科学マンガなど、盛りだくさん内容でお届けしています。https://www.kodomonokagaku.com/

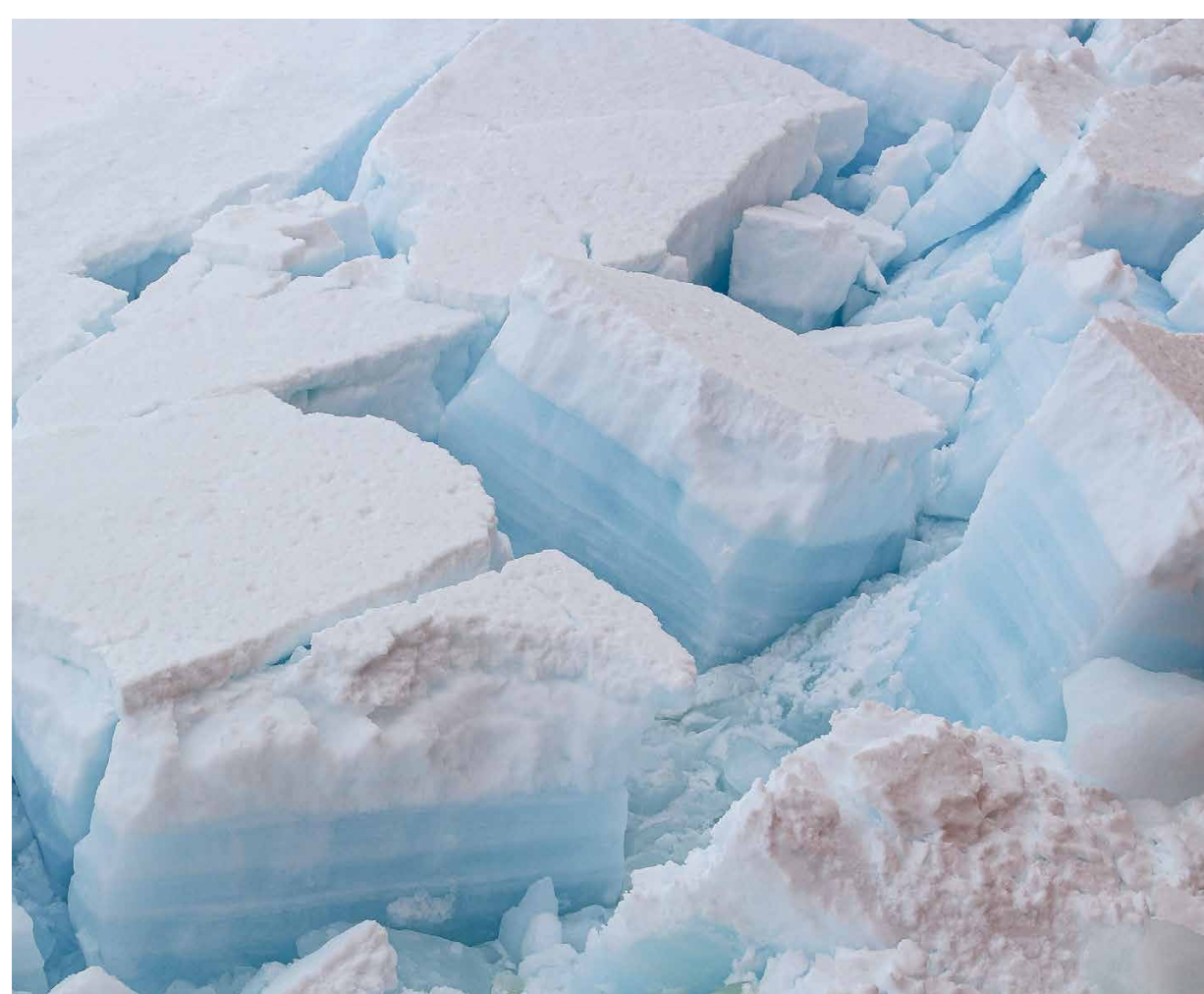


極地研
ウェブマガジン



「極」は、南極・北極の魅力や極地観測の様子、研究の成果を紹介する、国立極地研究所のウェブマガジンです。南極と北極は、まだ多くの謎が残る場所であると同時に、気候変動の影響を知るうえでとても大切な場所です。「極」では、そんな極地での観測や研究の様子をわかりやすくお伝えしています。https://kyoku.nipr.ac.jp/

多彩な海氷



海の研究



南極観測船



【特別チャレンジ!】

クロスワードに挑戦して、右の観測隊スタンプを押そう!
答えは常設展示と企画展示パネルの中にあるよ。

《南極・北極科学館企画展示》
雑誌でめぐる！南極・北極
会期第2期：2025 年 10 月 7 日～12 月 27 日

クロスワードに挑戦!

マスを含めて、観測隊スタンプを押そう!

ヒントを読んでマスに言葉（カタカナ）を入れてみましょう。
答えは常設展示と企画展示パネルの中にあるよ。

【企画展示のヒント】
1. 砕氷艦「しらせ」の運用をおこなっている〇〇〇〇〇自衛隊。
2. 古代の電燈を調度する時に使う海底の泥を採取する機材は〇〇〇〇〇。
3. 海氷の種類で、生涯一生未溶の氷は？

【常設展示のヒント】
4. ゴム気球について飛ばす気象観測器具はラジオ〇〇〇。
5. 南極海に生息する吸盤がー列しかないタコ。
6. 南極の海の底で見られる、コゲと軍とバクテリアが作る〇〇〇〇〇。

マスを含めて埋められたら、台紙をお持ちになって科学館事務室までお越しください。

《台紙》

マスを全て埋められたら、
台紙をお持ちになって
科学館事務室までお越しください。

